

埼玉県住生活基本計画ほか2計画 正誤表

No.	頁	訂正箇所	誤	正
1		ごあいさつ	(8行目) いわゆる標準世帯(夫が働いて収入を得て、妻は専業主婦、子どもは2人の4人世帯)は、今や総世帯数の4.6パーセントしか占めておらず、2040年には全世帯の36パーセントが単身世帯に、43パーセントが 高齢者のみ世帯 になる見通しにあり、ますます多様化が進んでいきます。 (以下略)	(8行目) いわゆる標準世帯(夫が働いて収入を得て、妻は専業主婦、子どもは2人の4人世帯)は、今や総世帯数の4.6パーセントしか占めておらず、2040年には全世帯の36パーセントが単身世帯に、43パーセントが 高齢世帯 になる見通しにあり、ますます多様化が進んでいきます。 (以下略)

「第1章 埼玉県の住生活をとりまく状況 第1節 埼玉県の住宅・地域事情」

2	P.4	(3)高齢者の状況	<p>本県の高齢者人口は、令和2年(2020年)の198万人から、令和22年(2040年)には230万人に増加し、高齢化率も高まっていくが見込まれています。また、世帯主が65歳以上の世帯数は令和22年(2040年)には129万世帯に、全世帯に対する高齢世帯の割合は43.4%となる見込みです。中でも、単身高齢者世帯の急激な増加が見込まれています。</p> <p>(表1は省略)</p> <p>■図4 世帯主の年齢別世帯割合の将来推計</p> <table border="1"> <caption>図4 世帯主の年齢別世帯割合の将来推計 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>35歳未満</th> <th>35~44歳</th> <th>45~54歳</th> <th>55~64歳</th> <th>65~74歳</th> <th>75歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>14.0%</td> <td>17.1%</td> <td>17.6%</td> <td>16.7%</td> <td>20.2%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>13.1%</td> <td>14.4%</td> <td>19.7%</td> <td>16.0%</td> <td>18.6%</td> <td>18.2%</td> </tr> <tr> <td>R7 (2025)</td> <td>12.7%</td> <td>12.7%</td> <td>19.2%</td> <td>18.2%</td> <td>15.4%</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>R12 (2030)</td> <td>12.5%</td> <td>11.9%</td> <td>16.6%</td> <td>21.1%</td> <td>15.3%</td> <td>22.7%</td> </tr> <tr> <td>R17 (2035)</td> <td>12.1%</td> <td>12.0%</td> <td>14.9%</td> <td>21.1%</td> <td>17.8%</td> <td>22.1%</td> </tr> <tr> <td>R22 (2040)</td> <td>11.8%</td> <td>12.0%</td> <td>14.2%</td> <td>18.6%</td> <td>21.0%</td> <td>22.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2019年推計)</p>	年	35歳未満	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳以上	H27 (2015)	14.0%	17.1%	17.6%	16.7%	20.2%	14.4%	R2 (2020)	13.1%	14.4%	19.7%	16.0%	18.6%	18.2%	R7 (2025)	12.7%	12.7%	19.2%	18.2%	15.4%	21.9%	R12 (2030)	12.5%	11.9%	16.6%	21.1%	15.3%	22.7%	R17 (2035)	12.1%	12.0%	14.9%	21.1%	17.8%	22.1%	R22 (2040)	11.8%	12.0%	14.2%	18.6%	21.0%	22.4%	<p>本県の高齢者人口は、令和2年(2020年)の198万人から、令和22年(2040年)には230万人に増加し、高齢化率も高まっていくが見込まれています。また、世帯主が65歳以上の世帯数は令和22年(2040年)には130万世帯に、全世帯に対する高齢世帯の割合は43.4%となる見込みです。中でも、単身高齢者世帯の急激な増加が見込まれています。</p> <p>(表1は省略)</p> <p>■図4 世帯主の年齢別世帯割合の将来推計</p> <table border="1"> <caption>図4 世帯主の年齢別世帯割合の将来推計 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>35歳未満</th> <th>35~44歳</th> <th>45~54歳</th> <th>55~64歳</th> <th>65~74歳</th> <th>75歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>14.0%</td> <td>17.1%</td> <td>17.6%</td> <td>16.7%</td> <td>20.2%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>13.1%</td> <td>14.4%</td> <td>19.7%</td> <td>16.0%</td> <td>18.6%</td> <td>18.2%</td> </tr> <tr> <td>R7 (2025)</td> <td>12.7%</td> <td>12.7%</td> <td>19.2%</td> <td>18.2%</td> <td>15.4%</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>R12 (2030)</td> <td>12.5%</td> <td>11.9%</td> <td>16.6%</td> <td>21.1%</td> <td>15.3%</td> <td>22.7%</td> </tr> <tr> <td>R17 (2035)</td> <td>12.1%</td> <td>12.0%</td> <td>14.9%</td> <td>21.1%</td> <td>17.8%</td> <td>22.1%</td> </tr> <tr> <td>R22 (2040)</td> <td>11.8%</td> <td>12.0%</td> <td>14.2%</td> <td>18.6%</td> <td>21.0%</td> <td>22.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2019年推計)</p>	年	35歳未満	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳以上	H27 (2015)	14.0%	17.1%	17.6%	16.7%	20.2%	14.4%	R2 (2020)	13.1%	14.4%	19.7%	16.0%	18.6%	18.2%	R7 (2025)	12.7%	12.7%	19.2%	18.2%	15.4%	21.9%	R12 (2030)	12.5%	11.9%	16.6%	21.1%	15.3%	22.7%	R17 (2035)	12.1%	12.0%	14.9%	21.1%	17.8%	22.1%	R22 (2040)	11.8%	12.0%	14.2%	18.6%	21.0%	22.4%
年	35歳未満	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳以上																																																																																																
H27 (2015)	14.0%	17.1%	17.6%	16.7%	20.2%	14.4%																																																																																																
R2 (2020)	13.1%	14.4%	19.7%	16.0%	18.6%	18.2%																																																																																																
R7 (2025)	12.7%	12.7%	19.2%	18.2%	15.4%	21.9%																																																																																																
R12 (2030)	12.5%	11.9%	16.6%	21.1%	15.3%	22.7%																																																																																																
R17 (2035)	12.1%	12.0%	14.9%	21.1%	17.8%	22.1%																																																																																																
R22 (2040)	11.8%	12.0%	14.2%	18.6%	21.0%	22.4%																																																																																																
年	35歳未満	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳以上																																																																																																
H27 (2015)	14.0%	17.1%	17.6%	16.7%	20.2%	14.4%																																																																																																
R2 (2020)	13.1%	14.4%	19.7%	16.0%	18.6%	18.2%																																																																																																
R7 (2025)	12.7%	12.7%	19.2%	18.2%	15.4%	21.9%																																																																																																
R12 (2030)	12.5%	11.9%	16.6%	21.1%	15.3%	22.7%																																																																																																
R17 (2035)	12.1%	12.0%	14.9%	21.1%	17.8%	22.1%																																																																																																
R22 (2040)	11.8%	12.0%	14.2%	18.6%	21.0%	22.4%																																																																																																

埼玉県住生活基本計画ほか2計画 正誤表

No.	頁	訂正箇所	誤	正
3	P.7	2 住宅ストックの状況 (1)住宅数、持家率、空き家率	<p>■図7 埼玉県の住宅ストック状況</p> <p>総住宅数 3,384,700戸</p> <p>居住世帯のある住宅 3,023,300戸 (100%) ※1</p> <p>専用住宅 2,978,900戸 (98.5%)</p> <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥</p> <p>店舗その他の併用住宅 44,400戸 (1.5%)</p> <p>居住世帯のない住宅 361,500戸</p> <p>空き家 346,200戸</p> <p>二次的住宅※4 7,400戸 賃貸用の住宅 199,400戸 売却用の住宅 15,300戸 その他の住宅 124,100戸</p> <p>一時現在者のみの住宅※3 7,700戸 ⑤</p> <p>建築中の住宅 7,600戸 ⑥</p> <p>※脚注・出典は省略</p> <p>＜図7中の該当箇所＞ ① 53.4% ② 50.6% ③ 営借家 ④ 1.4% ⑤ 7,700戸 ⑥ 7,600戸</p>	<p>■図7 埼玉県の住宅ストック状況</p> <p>総住宅数 3,384,700戸</p> <p>居住世帯のある住宅 3,023,300戸 (100%) ※1</p> <p>専用住宅 2,978,900戸 (98.5%)</p> <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥</p> <p>店舗その他の併用住宅 44,400戸 (1.5%)</p> <p>居住世帯のない住宅 361,500戸</p> <p>空き家 346,200戸</p> <p>二次的住宅※4 7,400戸 賃貸用の住宅 199,400戸 売却用の住宅 15,300戸 その他の住宅 124,100戸</p> <p>一時現在者のみの住宅※3 7,600戸 ⑤</p> <p>建築中の住宅 7,700戸 ⑥</p> <p>※脚注・出典は省略</p> <p>＜図7中の該当箇所＞ ① 53.5% ② 50.7% ③ 民営借家 ④ 1.5% ⑤ 7,600戸 ⑥ 7,700戸</p>
4	P.9	(2)専用住宅数に占める分譲マンション戸数の割合	<p>(7行目) また、マンションに居住する世帯のうち、家計を主に支える者が65歳以上の世帯は平成30年で36%を占めており、全国平均(26%)と比較して高い割合となっています。</p>	<p>(7行目) また、マンションに居住する世帯のうち、家計を主に支える者が65歳以上の世帯は平成30年で36%を占めています。</p>

埼玉県住生活基本計画ほか2計画 正誤表

No.	頁	訂正箇所	誤	正																																																																																										
5	P.10	(3)耐震化の状況	<p>■表3 住宅の耐震化率の推移 (戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">昭和56年5月までの旧耐震基準の住宅</th> <th rowspan="2">昭和56年6月以降の新耐震基準の住宅</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">耐震化率 (%)</th> </tr> <tr> <th>耐震性なし</th> <th colspan="2">耐震性あり</th> </tr> <tr> <th></th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>e=a+d</th> <th>f=(c+d)/e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年10月1日</td> <td>672,765</td> <td>228,918</td> <td>443,847</td> <td>2,222,135</td> <td>2,894,900</td> <td>92.10%</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月1日</td> <td>580,634</td> <td>215,995</td> <td>364,639</td> <td>2,442,666</td> <td>3,023,300</td> <td>92.90%</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月31日</td> <td>559,349</td> <td>210,961</td> <td>348,388</td> <td>2,523,349</td> <td>3,082,698</td> <td>93.20%</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月31日</td> <td>545,159</td> <td>207,605</td> <td>337,554</td> <td>2,573,349</td> <td>3,118,508</td> <td>93.30%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典・脚注は省略</p>		昭和56年5月までの旧耐震基準の住宅			昭和56年6月以降の新耐震基準の住宅	計	耐震化率 (%)	耐震性なし	耐震性あり			a	b	c	d	e=a+d	f=(c+d)/e	平成25年10月1日	672,765	228,918	443,847	2,222,135	2,894,900	92.10%	平成30年10月1日	580,634	215,995	364,639	2,442,666	3,023,300	92.90%	令和2年3月31日	559,349	210,961	348,388	2,523,349	3,082,698	93.20%	令和3年3月31日	545,159	207,605	337,554	2,573,349	3,118,508	93.30%	<p>■表3 住宅の耐震化率の推移 (戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">昭和56年5月までの旧耐震基準の住宅</th> <th rowspan="2">昭和56年6月以降の新耐震基準の住宅</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">耐震化率 (%)</th> </tr> <tr> <th>耐震性なし</th> <th colspan="2">耐震性あり</th> </tr> <tr> <th></th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>e=a+d</th> <th>f=(c+d)/e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年10月1日</td> <td>672,765</td> <td>228,918</td> <td>443,847</td> <td>2,222,135</td> <td>2,894,900</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月1日</td> <td>580,634</td> <td>215,995</td> <td>364,639</td> <td>2,442,666</td> <td>3,023,300</td> <td>92.9%</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月31日</td> <td>559,349</td> <td>210,961</td> <td>348,388</td> <td>2,523,349</td> <td>3,082,698</td> <td>93.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月31日</td> <td>545,159</td> <td>207,605</td> <td>337,554</td> <td>2,573,349</td> <td>3,118,508</td> <td>93.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典・脚注は省略</p>		昭和56年5月までの旧耐震基準の住宅			昭和56年6月以降の新耐震基準の住宅	計	耐震化率 (%)	耐震性なし	耐震性あり			a	b	c	d	e=a+d	f=(c+d)/e	平成25年10月1日	672,765	228,918	443,847	2,222,135	2,894,900	92.1%	平成30年10月1日	580,634	215,995	364,639	2,442,666	3,023,300	92.9%	令和2年3月31日	559,349	210,961	348,388	2,523,349	3,082,698	93.2%	令和3年3月31日	545,159	207,605	337,554	2,573,349	3,118,508	93.3%
	昭和56年5月までの旧耐震基準の住宅				昭和56年6月以降の新耐震基準の住宅	計	耐震化率 (%)																																																																																							
	耐震性なし	耐震性あり																																																																																												
	a	b	c	d	e=a+d	f=(c+d)/e																																																																																								
平成25年10月1日	672,765	228,918	443,847	2,222,135	2,894,900	92.10%																																																																																								
平成30年10月1日	580,634	215,995	364,639	2,442,666	3,023,300	92.90%																																																																																								
令和2年3月31日	559,349	210,961	348,388	2,523,349	3,082,698	93.20%																																																																																								
令和3年3月31日	545,159	207,605	337,554	2,573,349	3,118,508	93.30%																																																																																								
	昭和56年5月までの旧耐震基準の住宅			昭和56年6月以降の新耐震基準の住宅	計	耐震化率 (%)																																																																																								
	耐震性なし	耐震性あり																																																																																												
	a	b	c	d	e=a+d	f=(c+d)/e																																																																																								
平成25年10月1日	672,765	228,918	443,847	2,222,135	2,894,900	92.1%																																																																																								
平成30年10月1日	580,634	215,995	364,639	2,442,666	3,023,300	92.9%																																																																																								
令和2年3月31日	559,349	210,961	348,388	2,523,349	3,082,698	93.2%																																																																																								
令和3年3月31日	545,159	207,605	337,554	2,573,349	3,118,508	93.3%																																																																																								
6	P.11	3 住宅市場・流通の状況	<p>■表4 新築着工戸数の推移 (単位:戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築着工数</td> <td>60,100</td> <td>62,376</td> <td>55,449</td> <td>57,357</td> <td>61,962</td> <td>59,280</td> <td>57,940</td> <td>49,716</td> <td>47,975</td> </tr> <tr> <td>減失数</td> <td>5,272</td> <td>6,242</td> <td>5,454</td> <td>6,113</td> <td>4,599</td> <td>4,080</td> <td>5,869</td> <td>3,544</td> <td>3,173</td> </tr> <tr> <td>純増加数</td> <td>54,828</td> <td>56,134</td> <td>49,995</td> <td>51,244</td> <td>57,363</td> <td>55,200</td> <td>52,071</td> <td>46,172</td> <td>44,802</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典は省略</p>		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	新築着工数	60,100	62,376	55,449	57,357	61,962	59,280	57,940	49,716	47,975	減失数	5,272	6,242	5,454	6,113	4,599	4,080	5,869	3,544	3,173	純増加数	54,828	56,134	49,995	51,244	57,363	55,200	52,071	46,172	44,802	<p>■表4 新築着工戸数の推移 (単位:戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築着工数</td> <td>60,100</td> <td>62,376</td> <td>55,449</td> <td>57,357</td> <td>61,962</td> <td>59,280</td> <td>57,940</td> <td>49,716</td> <td>47,975</td> </tr> <tr> <td>減失数</td> <td>7,179</td> <td>6,511</td> <td>5,500</td> <td>6,113</td> <td>4,604</td> <td>4,080</td> <td>5,869</td> <td>3,544</td> <td>3,173</td> </tr> <tr> <td>純増加数</td> <td>52,921</td> <td>55,865</td> <td>49,949</td> <td>51,244</td> <td>57,358</td> <td>55,200</td> <td>52,071</td> <td>46,172</td> <td>44,802</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典は省略</p>		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	新築着工数	60,100	62,376	55,449	57,357	61,962	59,280	57,940	49,716	47,975	減失数	7,179	6,511	5,500	6,113	4,604	4,080	5,869	3,544	3,173	純増加数	52,921	55,865	49,949	51,244	57,358	55,200	52,071	46,172	44,802										
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																					
新築着工数	60,100	62,376	55,449	57,357	61,962	59,280	57,940	49,716	47,975																																																																																					
減失数	5,272	6,242	5,454	6,113	4,599	4,080	5,869	3,544	3,173																																																																																					
純増加数	54,828	56,134	49,995	51,244	57,363	55,200	52,071	46,172	44,802																																																																																					
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																					
新築着工数	60,100	62,376	55,449	57,357	61,962	59,280	57,940	49,716	47,975																																																																																					
減失数	7,179	6,511	5,500	6,113	4,604	4,080	5,869	3,544	3,173																																																																																					
純増加数	52,921	55,865	49,949	51,244	57,358	55,200	52,071	46,172	44,802																																																																																					
7	P.12	4 居住の状況 (1)世帯年収と住宅の所有関係	<p>■図15 住宅の所有関係別の年収別世帯割合</p> <p>※出典は省略</p>	<p>■図15 住宅の所有関係別の年収別世帯割合</p> <p>※出典は省略</p>																																																																																										

埼玉県住生活基本計画ほか2計画 正誤表

No.	頁	訂正箇所	誤	正
8	P.14	(3)単身世帯	<p>■図18 年齢区分別単身世帯の推移</p> <p style="text-align: center;">※出典は省略</p>	<p>■図18 年齢区分別単身世帯の推移</p> <p style="text-align: center;">※出典は省略</p>
9	P.14	5 産業・就業の状況 (1)通勤・通学状況	<p>■図19 従業地・通学地の状況(1都3県・全国)</p> <p style="text-align: center;">※出典は省略</p>	<p>■図19 従業地・通学地の状況(1都3県・全国)</p> <p style="text-align: center;">※出典は省略</p>

埼玉県住生活基本計画ほか2計画 正誤表

No.	頁	訂正箇所	誤	正
10	P.17	7 高齢者の住まいの状況 (1)所有関係	<p>■図25 高齢者のいる主世帯の種類別住宅所有の割合</p> <p>高齢者のいる主世帯 1,237,200 世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> 単身高齢世帯 309,700 世帯 <ul style="list-style-type: none"> 17.1% (単身高齢世帯の88.1%) 7.9% (単身高齢世帯の31.9%) 高齢夫婦世帯 350,700 世帯 <ul style="list-style-type: none"> 25.6% (高齢夫婦世帯の90.3%) 2.7% (高齢夫婦世帯の9.7%) その他の高齢者のいる主世帯 578,800 世帯 <ul style="list-style-type: none"> 41.9% (その他の高齢者のいる主世帯の90.0%) 4.7% (その他の高齢者のいる主世帯の10.0%) <p>■持ち家 (1,047,500 世帯) ■借家 (189,700 世帯)</p> <p>※出典は省略</p>	<p>■図25 高齢者のいる主世帯の種類別住宅所有の割合</p> <p>高齢者のいる主世帯 1,237,200 世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> 単身高齢世帯 309,700 世帯 <ul style="list-style-type: none"> 17.1% (単身高齢世帯の88.1%) 8.0% (単身高齢世帯の31.9%) 高齢夫婦世帯 350,700 世帯 <ul style="list-style-type: none"> 25.6% (高齢夫婦世帯の90.3%) 2.7% (高齢夫婦世帯の9.7%) その他の高齢者のいる主世帯 578,800 世帯 <ul style="list-style-type: none"> 41.9% (その他の高齢者のいる主世帯の90.0%) 4.7% (その他の高齢者のいる主世帯の10.0%) <p>■持ち家 (1,046,600 世帯) ■借家 (190,600 世帯)</p> <p>※出典は省略</p>
11	P.22	(4)高齢期の住まいの希望	<p>本県の単身高齢・高齢夫婦のみ世帯のうち、住み替え意向のある世帯は9.2%、リフォーム・建て替えを行って現在の住宅に住み続ける意向の世帯は20.2%となっています。高齢世帯の約30%に今後又は将来において住み替えやリフォーム・建て替えの意向が見られます。</p> <p>■図34 高齢者の住み替えやリフォーム・建て替えの意向</p> <p>20.2%</p> <p>9.2% 5.5% 13.2% 1.5% 39.3% 19.5% 11.7% 0.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■できれば住み替えたい □リフォーム・建て替えどちらも考えている □リフォームを考えている ■建て替えを考えている ■リフォーム・建て替えいずれも考えていない □改善するかわからない □(住み替え意向について) わからない □不詳 <p>できれば住み続けたい</p> <p>※出典は省略</p> <p>本県の単身高齢・高齢夫婦のみ世帯の住み替え後の居住形態(借家(施設を含む))の意向は、「高齢者向け住宅・施設」が15.3%となっています。</p>	<p>本県の高齢者が家計を支える世帯のうち、住み替え意向のある世帯は9.2%、リフォーム・建て替えを行って現在の住宅に住み続ける意向の世帯は20.2%となっています。高齢世帯の約30%に今後又は将来において住み替えやリフォーム・建て替えの意向が見られます。</p> <p>■図34 高齢者の住み替えやリフォーム・建て替えの意向</p> <p>20.2%</p> <p>9.2% 5.5% 13.2% 1.5% 39.3% 19.5% 11.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■できれば住み替えたい □リフォーム・建て替えどちらも考えている □リフォームを考えている ■建て替えを考えている ■リフォーム・建て替えいずれも考えていない □改善するかわからない □(住み替え意向について) わからない <p>できれば住み続けたい</p> <p>※出典は省略</p> <p>本県の高齢者が家計を支える世帯の住み替え後の居住形態(借家(施設を含む))の意向は、「高齢者向け住宅・施設」が15.3%となっています。</p>